

ENGINE NEWS vol.14

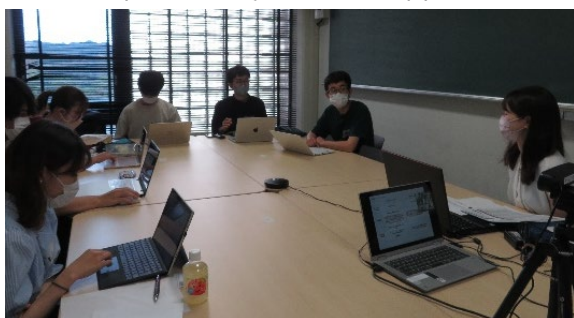
地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」

事業連繫大学：信州大学、富山大学、金沢大学

特殊講義 地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ 金沢大学訪問&フィールドワーク 開始！

7月6日（水）によりスタートした「地域課題解決型プログラム—ENGINEインターンシップ」、通称；ENGINEインターンシップは、富大生14名、信大生・金大生合わせて28名が、地域の課題解決に向けてフィールドワークを実施しています。

7月16日（土）のday2では、3大学の学生、3地域の協力企業が金沢大学角間キャンパスに集結しました。はじめに3大学合同で講義を受けた後、3大学混合のチームに分かれてグループワークを行いました。各自が設定した「今後の目標」を発表し、それに対し、協力企業11社の方々からフィードバックを頂きました。8月12日（金）のDay4では、「食」「インフラ・ものづくり」「交通」「観光」の4テーマ5チームに分かれ、これまでにフィールドワークで得られた知識や情報をもとに「何が課題なのか」「ありたい姿とは何か」について議論を交わしました。基幹産業を再定義するという課題に対し、精力的に取り組みを進めています。



インターンシップday2での企業とのグループワークの様子



Day 4 テーマ別の発表の様子

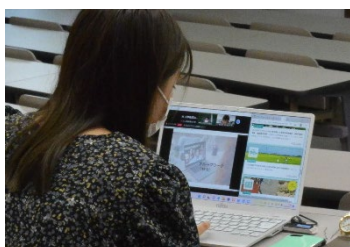
「富山の地域づくり

授業紹介

～地域のトップリーダーを繋ぐ～

前期の授業では、富山大と信州大・金沢大をオンラインでリアルタイムにつなぎ、合同でワークショップを行う「富山の地域づくり～地域のトップリーダーを繋ぐ」を行いました。6月13日（月）からは、3回に分けて富山大が担当するガスを中心とした、インフラの講義を行いました。

講義後のグループワークでは「エネルギー×環境×地方創生」をテーマに、新たなコト創りの可能性について、活発に議論を交わしました。



第12回（711）の様子

教えて

「COC+R事業」って何？

皆さんから「ところで、COC+R事業って何？」との質問を頂きます。これは「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」のことです。COC+事業である「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業の後継事業です。令和2年度から実施している本事業の特徴とは、富山地域だけではなく信大・金大、長野県・石川県企業が協働し、学修と就職先が一体となって実施しているところにあります。

選定された事業は、ENGINEを含めて全国で4事業あり、他に「VUCA時代の成長戦略を支える実践的教育プログラム」（事業責任大学；山梨県立大学）、「吉備の杜 創造戦略プロジェクト—雑草型人材育成を目指して—」（事業責任大学；岡山県立大学）、「とくしま創生人材・企業共創プログラム」（事業責任大学；徳島大学）があります。

